



地域共生社会に向けて ～みんなで創ろう、支えあう地域～ あい【I・合い・愛】は地域をすくう！

新年 明けましておめでとうございます。第29回東北作業療法学会の開催日まで6カ月弱となりました。実行委員及び山形県作業療法士会一丸となって皆さまの学会へのご参加を心よりお待ちしておりますのでよろしくお願い申し上げます。

さて、1月11日で演題の登録を締め切りましたが、皆さま方のご協力で114演題が登録されました。本当にありがとうございました。今回のテーマは地域共生社会の構築の中で私たち作業療法士に求められるものは何か、ということでもあります。これは作業療法の究極の目標だと個人的には思っています。障害のある方もない方も、高齢者も子供も、認知症者も同じ地域で生活しています。福祉や制度は必要ですが、何より基本は自立した生活の視点だと思います。それは個人の自立した生活とその個人を支える地域社会丸ごとの自立（互助の活性化）が必要で、個人の主体的活動と社会の主体的活動の統合に私たち作業療法士がどのような仕組みをつくっていくかが問われていると思います。

今回の東北学会では、このようなことを大いに議論し、将来の作業療法について語り合いたいものです。東北の作業療法とは、29回に渡る東北作業療法学会の積み重ねで作られてきた、歴史と文化そのものであります。ぜひ山形に来て頂き、東北の作業療法の新たな1ページをつくって頂きたいと思っております。皆さまを心から歓迎いたします。

学会長 松木 信



2019年1月21日掲載

Facebook ページ

いいね！お待ちしております！



一般社団法人
山形県作業療法士会



東北作業療法学会